

## 沖縄県内土壌由来の油分解菌による土壌浄化技術の開発に関する研究集会レポート

### 1.概要

2017年11月9日、10日に沖縄県男女共同参画センターにて、「第23回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会」が開催されました。

今年は、EBHからは5題の発表を行いました。

今年の研究集会では、主に沖縄県内の米軍基地返還地をターゲットとした油汚染土壌浄化や重金属の不溶化に関する研究集会が多い傾向にありました。

### 2.EBHの発表内容

沖縄県内土壌由来の油分解菌による土壌浄化技術の開発

発表者：比嘉一葉

沖縄独自の微生物で構成したバイオオーグメンテーションによる油汚染土壌の浄化技術の開発を目指し、安全で効率的な土壌浄化技術の開発を試みました。

本研究から沖縄本島および離島合計23島から1,755の土壌試料を採取し、その中からより油分解能の高い22菌株を選抜しました。また、16SrRNA遺伝子の塩基配列解析および急性経口毒性試験の結果から選抜した菌株の安全性を確認しました。今後はこの菌株を活用した油汚染浄化工法を検討していく予定です。

<論文> [沖縄県内土壌由来の油分解菌による土壌浄化技術の開発](#)

